

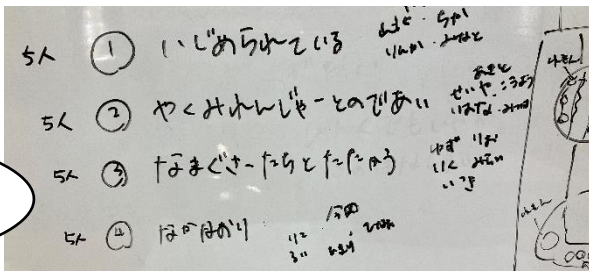
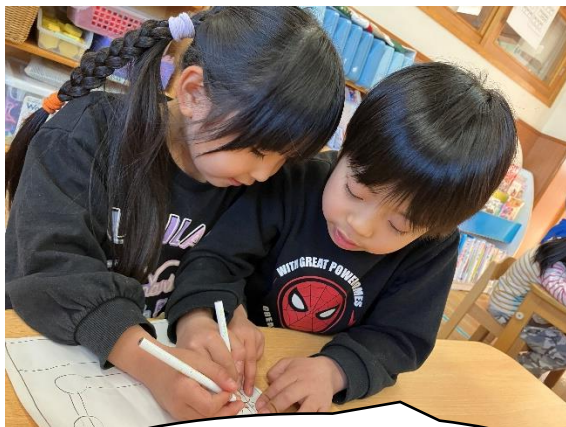
# れもんちゃんの世界に入ってみた

～らいおん組、「れもんちゃん」をきっかけに深まった遊びの事例～

ももちゃんの世界を創り上げたあと、「またつくりたいね!」「ももちゃんには続きがあつてれもんちゃんっていうのもあったよ!」「え!れもんちゃんも作りたい!」という声が聞こえてきていました。しかし、なかなか時間が取れず…それからしばらく経った頃、らいおん組の熱い思いに答えてれもんちゃん作りが始動していきました。らいおん組が最後につくりあげた、れもんちゃんの世界を見ていきたいと思います。

## れもんちゃんの世界ってどうやってつくる?その1

れもんちゃんの世界をつくるためにホールを借りられる日程に見通しが立ったため、その1ヶ月前に一度子どもたちとどうやってれもんちゃんの世界をつくるのか話し合いをしました。すると、「今回は敵が3体もいるからな…!」「ナメクジャーだけだったときより大変だよ!」「チームに分かれてやる?」「敵だけじゃなくて、野菜たちもたくさんでくるじゃん!」「どの野菜をつくるの?」「一番大きいのでいいんじゃない?」「一番大きいってなにが?」「絵が!」「えー!でもあとの野菜のほうが可愛んだよ!」と話は全然まとまりません。そこで、「一つの場面を全体につくるか、いくつかの場面をつくるか、だったらどっちがいい?」と聞いてみると、「ももちゃんのときはナメクジャーの場面にしたから、シワクチャーたちの場面にしたらいいんじゃない?」「えー!れもんちゃんがヤクミレンジャーと出会うところもつくりたい!」という声があがってきました。すると、その話をじっと聞いていたRちゃんが、「それなら何個かの場面をつくったらいいんじゃない?」と意見をまとめてくれました。そこで、れもんちゃんがいじめられる第一場面、れもんちゃんがヤクミレンジャーと出会う第二場面、敵と戦う第三場面、仲直りをする第四場面をつくることになりました。



場面ごとにどんな感じですか話し合っ書いて出した!

## れもんちゃんの世界ってどうやってつくる?その2

それぞれの場面ごとでチームに分かれ、どんな風に作るのか話し合いを行いました。その中で、次に問題として浮上したのがれもんちゃんやナメグサー(敵)たちをどうやって作るのか、という問題でした。段ボールで作ることはまとまったのですが、前回同様、画用紙を貼っていくのか、前回とは違うことにも挑戦してほしいという保育者の思いもあり、何かいい方法がないかと子どもたちと悩んでいました。そんなとき、園長先生に、「自分たちで色塗って見たらどう?」と提案してもらいました。「え!それいいね!塗りたい!」と子どもたちも大賛成で色から自分たちで作ることになりました。

## 色塗いをしよう！

画用紙や模造紙に塗るよりもっと大きなものに塗りたいと思い、宅配物の中に入っている緩衝材に色を塗り、素材を作っていくことに！ローラーを使ってベースの色を塗っていると、「手でも塗りたい〜！」という思いが出てきたので、「え！手でも塗る？」と聞いてみると、「いいの！？塗りたい！」「塗りたい！」と大盛り上がりしました。そこで、ベースはローラーで塗って、手で模様をつけていくことで話がまとまり、「冷たい！」「むにゅむにゅしてる！」「たのしい！もっと塗りたい！」ととても楽しそうに塗っていました。



ローラーで塗って行くの楽しい！！もっともっと塗ろう！！



楽しいー！！

端っまで塗ろう！



ナマグサーの色になってきた！

サンホールがいっぱいになった！



## 染物ってれもんちゃんに使えるのかな？

れもんちゃんの世界作りがはじまる少し前、「染物してみたい！」という子どもたちの声で、染物にも挑戦していました。季節が12月で真冬だったこともあり、花や草で染めるのは難しそうという話になり、野菜での染物をしていました。玉ねぎの皮、ほうれん草、にんじん、ビーツなどの色が出そうな野菜をいくつか煮だし、染めてみた結果、玉ねぎの皮とビーツなら染められることが分かり、綺麗に布を染めていました。

そんな経験をしていた子どもたちから、「染物ってれもんちゃんに使えるのかな？」という思いが湧き出てきました。すかさず「面白そうだね！使おうよ！」という、「うん！何に使う？」「何に使ったらいいかな？」と話が盛り上がっていきました。そこで、子ども会議をすると、「玉ねぎの皮は黄色だから蝶々はどう？」という意見がでてきました。「いいね！じゃあ、飛べるもので鳥も作ろう！」「蝶々がとまる花も！」「花と一緒にいる虫も作ろうよ！」とどんどん話は盛り上がり、蝶々・鳥・花・虫のチームに分かれて、それぞれのものを染物で作っていくことで話がまとまりました。



モールとか新聞紙を使って形にしていくよ！！



## 空いてる時間で色を増やしなから、花紙も！

日中に違う活動をしている日も昼になると、こんなの作りたい！とか、こうやってみるのはどうかな？と子どもたちから「いいこと思いついた！」がたくさん出てきていました。その度に子ども会議や話し合いをして、採用される意見と、それは〇〇だから無理じゃない？と断念する意見とに精査するようにしていました。結果、採用された意見は、「まだまだ色を増やしたい！」というものと、「花紙もつくりたい！」というものだったので、時間を見つけては色を塗り、花紙をつくっていきました。



草用の色塗りもどんどん濡れてきてるね！！



れもんちゃんのお庭にもきれいな花がたくさん咲いてるから色んな色でつくっていきましょう！



## 迎えた当日！いざ作業開始！

着々と準備を進めて、ホールを使って作業ができる当日を迎えました。1日目は、場面ごとにチームに分かれ、何をだれがするかななどの話し合いも事前に行っていたため、スムーズに作業に入っていました。まずは、数日前から作っていた色をちぎって、段ボールに水糊で貼っていく作業をどのチームもはじめていました。最初、小さくちぎりすぎたり、大きすぎて色が重なったりしているチームも、保育者の助言を聞いたり、子どもたち同士でも、「これだと貼るのが大変だね」「色が足りなくなりそうだから被ってるところちぎろう！」などと話し合

いをして、ちょうどいい大きさにちぎって貼ってっていました。また、水糊を使う経験をあまりしていなかったもので、ハケの使い方や糊をどの程度つけていくかなど水糊の使い方を保育者の話も聞きながら、体感的にも感じて進めていきました。また、手が空いた子どもたちが、「僕たちが道をつくるよ！」などと場面を超えて、全体で作らないといけないものを作っていました。



## 二日目！

一日目の終わりに明日することをチームで話し合いをしていたため、二日目もスムーズに作業に入っていました。それぞれ、場面ごとで作業が細くなったり、佳境に入ったりしていて、集中して夢中で作業していたので、それぞれの場面ごとの様子を以下にまとめていきます。

**第一場面**…今日はももちゃん・りんごちゃん・だいこんくんづくりをしていました。画用紙と事前に塗っていた紙が足りなくなってしまったので、画用紙と合わせて貼りながら、「このくらいのサイズにする？」「もうちょっと大きい方がいいかな？」と協力して進めていました。



ここに貼れるようなサイズで紙ちぎったよ！！



**第二場面**…今日はれもんちゃんづくりの終盤と道・草づくりをしていました。道や草は全ての場面に共通するところなので、「俺たちがやらないとみんな困るもんね！」「ももちゃんの時とは違って大きな草にしよう！」と意欲的に進めていました。



れもんちゃんできた！！



**第三場面**…昨日から引き続き、大ボスたちの製作に取り掛かっていました。「今日はシワクチャー（二番目のボス）の手と、アブラー（三番目のボス）をつくるんだよ！」「手をつくるチームとアブラーに分かれてやろう！」と緻密な相談を事前にしながら着実にすすめていました。



**第四場面**…二日目はりんごちゃん・だいこんくん・ばななくんをつくっていました。段ボールに紙や画用紙を貼る様子は職人のように細かく丁寧な仕事ぶりでした。「のり無くなりそうだから取ってくるね」「ありがとう！じゃあ私は紙持ってくるよ！」と細かい連携も取りながら進めていました。



4・5人のグループでグッと集中して作り込み、遊び込んでいたので完成すると、「できた！みて！！」「できたよ！並べよう！」「やったー！」と達成感いっぱいな様子でした。子どもたち同士で話し合い、試行錯誤しながらそれぞれのものを作り上げていました。



### 三日目！最終日！

最終日の三日目、最後の大詰めがはじまりました。昨日の終わりに足りないもの話し合いを行い、場面ごとのチームは一回解散して、①染め物とハエをつるす。②草をつくる、③虫をつくる、④看板づくり、⑤壊れたところの修理、の5つのチームに分かれることになっていたため、今日は朝からそれぞれの活動が着実に始まりました。染物とハエをつるすチームは、上からものをつるすにはどうするのか、何色の糸でつるすのかの話し合い「蝶々はピンクとか白とかにしたらどうかな？」「いいね！そうしよう！」「ハエは黒でやろうね！」と盛り上がっていました。看板づくりでは、「お母さんたちが一番初めにみるところだから、もっとこうしたい！」という思いで、丁寧に看板づくりや絵本の場面を貼っていました。

そして、夏前に行ったもちゃんの世界づくりからはじまり、らいおん組としての集大成となるれもんちゃんの世界づくりがついに完成しました！「できたね！」「入口からみてみたい！」「歩いたらすごいよ！」「ナマグサーたち好きになってきた！」など完成できた喜びで様々な思いが湧き出していました。

**絵本という平面的な世界を、子どもたちの想像力で立体化させ、子どもたち同士での対話で一つにまとめ、試行錯誤しながら大きな一つの作品にすることができました。**何か一つのものをみんなで協力して作り上げるという、達成感や満足感を感じ、とっても楽しそうならいおん組でした。



### 保護者やほかのクラスの子どもたちが見に来てくれた！

完成した午後にほかのクラスの子どもたちが見に来てくれました。ひよこ組からきりん組まで全てのクラスが訪ねてきてくれ、「すごーい！」「どうやってつくったの？」「これなに？」「なにでできるの？」「かわいい！」と様々な感想や質問を言ってくれていました。らいおん組は、下のクラスの子どもたちの側で、れもんちゃんの説明をしたり、質問に答えたりと、誇らしそうにれもんちゃんの世界を案内していました。







## 解体!

翌週の月曜日、解体作業が始まりました。「もう壊しちゃうの悲しいね」「でも家に持って帰れるのはうれしい!」「お家に飾るんだ!」「ナマグサーたちって残したりできないかな?」と様々な声があがっていました。そこで、子ども達と話し合い、ナマグサーたちは卒園式にも参加させてあげることになりました。



取るの大変だからきれいに貼れてたんだね!!

ナメクジャーもバイバイ!!!





新聞紙は伸ばして畳んだらまた  
使えそうだよ！！

### そして卒園式へ…！

3月14日、らいおん組の卒園式がありました。卒園証書をもらい、これまでの感謝や思い出を振り返り、未来への希望いっぱいみんなをナマグサーたちはそっと見守ってくれていました。



卒園おめでとうございます！！

みんなで相談して、考えて、挑戦して、失敗して、また考えて、ときには喧嘩もして…色々なことを経験してきたみんななら大丈夫！これから先、困難があっても保育園で、友達と協力して、相談してぶつかって、本気で色々なことに挑戦してきたみんななら、乗り越えていける！乗り越えていく方法を知っている！

また、保育園にも遊びにきてね。

### れもんちゃんの世界を振り返る！

『ももちゃん』に出てくるリズムにハマり、一人の子どものなかに湧き出てきた「ナメクジャー作りたい！」という思いからはじまっていった活動でしたが、段々とクラスを巻き込み、大きな思いへとつながっていきました。なかには普段、創作や工作に興味がない子や塗り絵や折り紙などにも興味がない子どもたちもいました。やりたい子どもたちから出てくる「染物使えないかな？」「ナマグサーの色を作るためにクレヨンで色混ぜよう！」

などの「○○したい！」の思いを側で聞いていた子どもたちからも、次第に「僕が作るなら鳥がいいな」「染物って僕でもできる？やってみたい」などの思いがでてきて、「え！それならこうやるんだよ！」「一緒にやってみる？教えてあげるよ！」と子どもたち同士が呼応して活動が盛り上がっていきました。これから先も、誰かと何かを協力してつくりあげることが必ずあると思います。それは、創作に限らず、社会に出てからも様々なことと言えるように思います。今回の活動でよく見られた、苦手なことは誰かに助けってもらって、逆に人の苦手なことは率先して助けてあげるそんな素敵な姿は、これから先の人生でもアドバンテージになっていってくれるように思います。

ああ～楽しかった！  
ももちゃんもれもんちゃんも大好きな絵本になったよ！！

